

AMDAの救援物資 雲南へ

薬など35トン集まる

16トン積み岡山空港離陸

中国・雲南省で起きた地震の被災地へ救援物資を運ぶAMDA（アジア医師連絡協議会、本部・岡山市）のチャーター機が十一日午後一時三十分、岡山空港から飛び立った。市民団体などから寄せられた物資は三十五トンもあり、うち十六トンを積み込んだ。昨年六月のサハリン大震災の救援時よりも作業はスムーズに進み、菅波茂代表は「実践経験がより豊富になった」と満足そうな表情で話していた。

県内の宗教団体を中心に、製薬企業など十九団体に、県内外の市民グループから医薬品や毛布、衣料品

などが集まった。この日、岡山県医師会によると、現地の医師は足りていないが、医グループから七十人が駆け付けてこん包作業を手伝った。医療活動で被災地近くの雲南省の省都・昆明に入り、十日に帰国した岩永賢二は、「感謝します。責任を持って確実に届けます」と話し

チャーター機に続々と積み込まれる救援物資

